

荒沢山(カドナミ尾根)から足拍子岳(南尾根) 2022年3月13日

L 大前(義) 吉田(秀) 吉田(文) 佐藤

記 吉田(秀)

赤城インターで緑さんと合流し雪の壁に囲まれた土樽へ。日曜のため9日の偵察の時と違い駐車スペースが無い。橋の袂の雪捨て場に車を止め、6時25分出発。トレースはあるが時々沈むのでワカンを使用。順調に2時間あまりで荒沢山下まで来る。



ここでアイゼンに履き替え登攀道具を身に着ける。頂上まで行かずトラバースしてホソドノコルへ下っていく。50mのハーフロープで大前-佐藤、吉田-吉田。25mの懸垂またはローダウンでコルへ。コル付近は雪が不安定。



ここから雪底の稜線と急斜面はトレースがありしっかりしているので全体がくずれそうな気味悪さはあるが歩きやすい。



コンテと部分的にスタカットを交えながら大前さんの判断に従ってロープを伸ばして行く。

途中先行パーティーのテンバ(2P分)跡があった。



悪場も過ぎ足拍子岳が近づいてくる。あるようだが、今日はしっかりしたス

足拍子岳下の斜面は雪の状態によってはなだれの心配がテップを踏んでいく。

ここも頂上は寄らず右手の南尾根にトラバースする。13時11分。これでもう終わりかと思ったら以外に悪い。雪底、クレバス、グサグサの急斜面でスタカット1P、懸垂下降25mした。迷いやすい道も先行パーティーがノーマルの尾根をくだってくれたので手間がかからなかった。ただ文江の膝の調子が悪く、皆と1時間ほど遅れた17時頃、車を移動してくれてあった道の終点に帰ってきた。皆さん雪とロープに慣れている人なので、中身の詰まった楽しい1日となった。緑さん、大前さんありがとうございました。

